

第141回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成22年9月)

2010.9.30

株式会社 岩手朝日テレビ

## 第141回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 22年 9月 30日 (木) 午前 11時～
2. 開催場所 本社3階 会議室
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 5名

委員長	増子 義孝
副委員長	村田 久
委員	笠川 さゆり
委員	そのだ つくし
委員	弭間 俊則

欠席委員数 2名

委員	小田島 利昭
委員	吉田 政司

会社側出席者名

代表取締役社長	富永 健治
専務取締役	辻 一成
報道制作局長	佐々木 貴
報道制作局副部長	鈴木 敦
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	落合 成範
番組審議会事務局	佐藤 清一

#### 4. 議 題

- (1) 番組合評  
「報道番組・情報系番組全般」
- (2) 10月単発番組について
- (3) 次回審議会  
開催日：平成22年10月28日(木)11時～  
本社 3階会議室  
合評課題：「お願い！ランキングGOLD」  
放送日時：平成22年10月16日(土)  
19時00分～19時54分

#### 5. 概 要

- 富永社長から「語り継がれる星に～菊池雄星18歳の真実～」がテレビ朝日系列の第13回のものづくりネットワーク大賞の優秀賞を獲得した。
- 9月21日、22日に民放連・広瀬会長、全国デジタル推進協議会・河合会長総勢7名が岩手県の現状を視察した。
- 落合事務局長より10月の単発番組と9月の視聴率について説明された。
- 津波を素材にした割には恐怖心もなく、淡々と内容が展開する構成は、ていねいである。
- 津波の際の被害状況が数字だけでは、どの程度大きい被害なのかよくわからない。
- オープニングの目がアップになる場面が怖いイメージである。
- 若い人にも興味がわき、理解できる作りになしてほしい。
- 津波をメインにしたタイトルをつけて、「命てんでんこ」は、サブタイトルでよかった。
- この番組は、津波の被害を風化させないようにというメッセージである。
- タイトルのつけ方に疑問がある。若い人には、わからない。
- 住民同士の絆や、行政との連携が表現されていない。
- 作品の良し悪しより、これから大きな地震がきたら怖いと言う意識を持たせる番組である。

## 6. 議事の内容

小林事務局長        それでは、只今より、第 141 回岩手朝日テレビ放送番組審議会を始めます。

                          それでは、増子委員長、議事をお願いいたします。

増子委員長            それでは富永社長、一言お願いします。

富永社長              本日もお忙しい中、お集まり頂きましてありがとうございます。2ヶ月ぶりの番組審議会であり、どうぞよろしくお願ひ致します。

                          本日は2つご報告がございます。まず、一つは、「語り継がれる星に～菊池雄星 18 歳の真実～」がテレビ朝日系列の第 13 回ものづくりネットワーク大賞の優秀賞を獲得いたしました。昨年のもものづくりネットワーク大賞の「盛岡冷麺」の最優秀賞に続く連続受賞となりました。以前報告したと思いますが、この作品は 1 月から 3 月のテレメンタリーのクール優秀賞も受賞しており、報道制作局と番組制作を担当した山田アナウンサーに対して「担当役員賞」を授与いたしました。

                          二つ目は、先週の 21 日、22 日に民放連広瀬会長、全国デジタル推進協議会河合会長はじめ、7 名が岩手県の視察に参りました。21 日は、一関市に入り、勝部市長に表敬訪問後、一関市の光ファイバー網を利用した地上デジタル中継局の整備事業の視察を行いました。

                          その後、盛岡に移動し、IBC 岩手放送にて、NHK 局長、各民放社長、各技術局長と岩手県のデジタル化の現状、課題等について打ち合わせを致しました。

                          22 日は、岩手県テレビ受信支援センター（デジサポ）にて、センター長より岩手県のデジタル進捗状況の説明を受けました。その後、県庁に達増知事を訪問し、これまでの県の対応についてのお礼と、今後も引き続き支援、特に弱者に対する対応をお願いいたしました。

                          アナログ停波の根拠、つまり、停波できる条件は、中継局の建設が 100%（これはロードマップ通り進んでおり、間違いなく達成できる見込みです。）経済的弱者の支援が 100%達成できる事などが求められます。

                          他に、ビルの影響等の難視の解消、集合住宅、新たな難視の対応の見通しがほぼ立っていることも条件になります。

                          電波、ケーブル、共聴設備などを使ってもどうしてもデジタル放送を見ることが出来ない世帯には、衛星からの受信が最後の手段となりますが、これらの世帯の把握（ホワイトリストとよんでおりますが。）が必要となります。

アナログ停波の決定は、半年前くらいにするのが理想ですが、わたくしから思えば3ヶ月くらい前くらいになるのではないと憶測しています。

本日の課題は「命てんでんこ」であります。合評の程どうぞよろしくお願い致します。

増子委員長

ありがとうございました。  
何かご質問等ございませんか？  
私からですが、岩手県だけが普及率が低いのですか。

富永社長

はい、岩手県は全国でワースト2位であり、最下位沖縄県です。地域が広い事もあり、難視聴地域があります。民放連では、今回は岩手県の視察に参りましたが、次回は長崎県の離島問題、沖縄県へ視察に参る予定です。

増子委員長

弱者対策はいかがでしょうか。また、国ではどのように対策を考えているのでしょうか。

富永社長

生活保護を受けている世帯やNHK受信料を免除されている世帯等、NHKさんは免除されている世帯を把握していますが、民放では把握していませんので、今後どのように調査していくのか、また、チューナーを無償化にするのか、家庭から申告させるのか、今後の検討することが課題となります。

増子委員長

チューナーはいくらぐらいで買えるのでしょうか。

佐々木技術局長

チューナーは5千円ぐらいで購入できるかと思います。

増子委員長

わかりました。他に何かご質問等ございますか。  
なければ視聴率、単発番組についてお願い致します。

落合編成局長

来月は期首期末という時期であり、レギュラー番組をベースとした特別番組が多くなっております。  
スポーツ番組では、16日17日に放送されます、「富士通でデ

ィースゴルフ」30日、31日には「マイナビ ABC チャンピオンシップゴルフ」の模様をお送りいたします。

また、自社制作番組として、9日土曜日10時15分から「IATで前カラオケ特別編」30日には「滝沢村商工会 30周年特番」「時代を超えた絆～駒形神社奥宮大改造」をお送りいたします。

視聴率についてご説明申し上げます。全日7.3%で第3位、ゴールデン12.1%で第4位、プライム12.4%で第2位、プライム2が7.0%で第1位となりました。

IBC、めんこい、共に視聴率が下がった結果となっており、全体的に視聴率が下がっております。これの要因と致しまして、夏の暑さの影響ではないかと考えております。

また、来週は、全国番組審議会が沖縄県で開催されます。副委員長の村田先生にご出席を賜り、議題は「放送番組全般について」となっております。どうぞよろしくお願い致します。

増子委員長

ありがとうございました。何かご質問ございますか。しかし、夏の暑さの影響は視聴率にまで響くのですね。そんな中、1位を取っているプライム2はどうして視聴率が取れるのでしょうか。

落合事務局長

ネオバラゾーンと言いまして、若者に受ける番組、月曜が「雑学王」火曜日「ぷっすま」等といった、人気番組が放送されています。

増子委員長

「たけしのTVタックル」や「ホントは怖い家庭の医学」はスペシャル番組として毎回放送しているのですか。

落合事務局長

そうですね。期首、期末に放送されることが多いですね。また10月からは「相棒」の放送が始まります。

笠川委員

3時間スペシャルでの放送が多くなりましたね。最近は圭司者のドラマが各局多くなり、同じ内容に思えてテレビを消してインターネットを見ている時間が増えましたね。

村田副委員長

「科捜研の女」は人気がありますよね。視聴率が取れるとどこの局もそれをまねして番組を作っていますよね。

増子委員長

本当に刑事物のドラマが多いですね。

その他、何かご質問等ございませんか。ないようですので、合評課題に移ります。

笠川委員

最初にこの番組を見たとき、津波の番組かと思いました。インパクトな映像を見慣れているせいか、ピンとこないので3回ほど見てみました。しかし、映像で恐怖心をあおり、番組の中にありましたが、忘れてはいけない過去や歴史があり、それが「いのちてんでんこ」というのに繋がっているのでしょうか。

何度も見直し、改めて感じたことは、恐怖心も全くなく、淡々と内容が進んでいく構成、丁寧に作っているのでしょうけど、何万人に避難勧告が出て、2月28日に連絡があって、どのような避難をしたのか、また、1960年のチリ地震当時の被害者の数字が出ていましたが、そのときの人口がどのくらいで何パーセントの人が被害にあわれたのか。数字だけ出て、どのくらい大きい被害だったのか全くわからない状況でした。その辺りの説明を詳しくして欲しかったと思います。1人暮らしで避難できなかった人がどのくらいいたのかとか、詳しい説明が足りなかったように思います。良い番組でしたが詳しい説明がないつくりだったと思います。

そのだ委員

オープニングの目がアップになるところが怖いイメージでした。内容的には、笠川委員と重なる部分がありますが、番組は丁寧に作られていたと思います。CG、シミュレーション等わかりやすく感じました。村上さんの話もとても良かったと思います。

年代別に思えば、若い人にも興味がわくような、また理解できるような作り方にして欲しいですね。

津波の怖さ、被害の大きさ等をうったえるシーンがあれば尚、良かったと思います。見終わって、何か物足りなさを感じました。

ありきたりな番組に思いました。池上さんのような人を起用して制作してみてもどうでしょうかね。子供たちがもっと気を引くような作り方を、子供たちが地震や津波ってこんなに怖いだと思えるような番組にして欲しいと思いました。

弭間委員

2月28日避難率がこんなに少なかったというところから始

まる番組の構成は、インパクト的には良かったと思いました。

当時起きた津波は、被害が大きかったことを風化させてはいけないことですよね。冒頭に、極めて避難比率が低かったことを出だしに出した事は良かったと思います。

臨場感交えながら、短時間に良くまとまっていた番組だと思います。再放送があったのも良かったのではないのでしょうか。

津波に特に注意をはらう、沿岸地域で防災情報として使える番組だと思いますね。もう少し時間があれば、津波は予想以上に早く到達する事をもう少し詳しい内容で説明して欲しかったと思います。

「命てんでんこ」というタイトルの番組でしたが、津波をメインにしたタイトルをつけて、「命てんでんこ」はサブタイトルにしても良かったと思います。津波が内容だとはこのタイトルをみてもわからなかったでしょう。起きてしまったら恐怖なこと、災害が大きいことをもう少し丁寧に説明する事が見ている人たちに災害の怖さが伝わるのではないのでしょうか。

村田副委員長

タイトル、分かる人には、分かるがタイトルのつけ方がむずかしい。安易につけているように思える。ないようにマッチしてない。

明治三陸津波、昭和三陸津波、チリ地震津波の被害を通して、その津波の怖さを良くわかる内容になっている。専門家による津波のメカニズムとシュミレーションにおける被害の状況が、分かりやすく説明されている。

田老町の田端ヨシさんの紙芝居による忘れてはならない、津波の怖さの伝承は、ただ流れて放送しているだけだ。

大船渡赤碓町の自主防災組織の結成や津波対策の活動が詳しく紹介されている。しかし、問題なのは、南米チリ地震において津波警報の非難率は 9.5%の低さである。この番組においては、この非難率の低さ、住民の津波に対しての関心のなさを、えぐり出すのが最も大切な事ではないか。一般市民からの声、市民参加の討論の場を設けるなど、もっと具体的な場面が必要ではなかったか。津波は怖いのに、非難率がなぜ 9.5%なのかその点が、はっきり見えてこない。一般市民の声とか若い年代の声がない。

タイトルは「命てんでんこ」自分の命は自分で守るのだという。他人はどうでもよく、自分だけが助かれば良いと言う事ではなく津波の怖さを常に認識して行動しなければいけないというのがタイトルの意味だと思う。しかし、他人に関心無く個人プレーが多い今の時代の中で、非難率 9.5%に現れたのではないか。住民同士の絆、行政との連携の大切さをもう



少しえぐり出して欲しかった。市民の声をえぐり出さないと「命てんでんこ」の意味になっていない。

増子委員長

細かい点はいろいろありますが、津波を風化させないようにというメッセージだと思います。大船渡の防波堤に10メートルの津波が押し寄せて凄いな。とシミュレーションをみて感じました。

宮城県で今後、大きな地震が起きると予想されていますが、20分で高いところに全員避難など、実際起きたら難しいことですよね。

津波が起きてしまったら大きな被害が出てしまいます。そのような恐ろしさをもっと視聴者に訴える様な作りにして欲しかったですね。

地震や津波が起きてしまったら、どのようにするのか等、市町村はちゃんと対策を考えているのでしょうか。多分、少ないのではないのでしょうかね。

今回この番組を見て、本当に恐ろしいと感じました。危機意識をもう少し市町村にも持って欲しいですね。資料として使えるようなこのような番組を市町村がもっと取り上げて、災害が少しでも少なくおさまるような意識を持って欲しいと思いました。

作品の良し悪しより、これから大きな地震がきたら怖いと言う意識を持たせる番組でした。

佐々木報道局長

貴重なご意見をありがとうございました。今回、「命てんでんこ」という番組を通し、地震の恐怖や津波が起きたら大きな被害が出ることなどを理解していただければと思いました。

宮城県沖で大きな地震が起きたら、大きな被害が出ることは間違いなく、体が動かない人、1人暮らしの人など、市町村ではどのように対策をしているのか、また当時起きた地震によって津波が発生し、どのくらいの人が被害にあわれたのかを視聴者にわかっていただきたく思いました。

番組で村上弘明さんを何故起用したかですが、村上さん自身、身内の方が当時、津波の被害にあわれ、岩手県出身者でもありますので出演していただきました。

9.5%と言う避難率の低さを強調して、番組で視聴者にわかってほしかったのですが、人口がどのくらいに対し、比率がどのくらいだったのか等、もう少し詳しく説明すれ

ばよかったと思います。

弭間委員

私も各市町村で、全員に見てほしい番組だと思いました。これは公的にも使える番組だと思いますよ。これまでにはこのような番組はありましたか？

落合事務局長

今までは、このような番組はなかったと思います。

増子委員長

宮城県沖地震が来たら、今回見た津波の被害よりもっと大きな被害が出るでしょうね。

村田副委員長

県の防災対策、意識は全く低いと思います。そのあたりを番組でもっと強調してくれば、視聴者への津波に対する意識が強くなると思います。

笠川委員

映像を見ていても、学生や若い人が出ていませんでしたね。各学校でこのような番組を資料として使って欲しいと思います。

増子委員長

津波がきたらこんなに大きな被害が出るということを知らない人が多いと思います。50センチの津波でも凄い力をもっていますね。津波に対して私も全く知らないことが多いです。

村田副委員長

南米チリ地震が起きたとき、沿岸では被害が凄かったのです。防災対策全く県でも意識していないんです。沿岸地域が多い県内なので、ちゃんと対策をしておかないといけないと思うのですが、まったくきちんとしていないと思います。身の危険もありますが、養殖で生活している人は発生してしまったら、全て失ってしまうんです。なので、きちんと意識して対策を万全にするべきです。

増子委員長 地震や津波について、恐怖感を持つべきですよ。起きてしまったらあつという間なのですから。  
何か他にご意見ございませんか。  
では次回についてお願いします。

落合事務局長 では次回についてですが、「お願い！ランキング GOLD」を合評課題にしております。是非ご覧になって貴重なご意見をお願いいたします。

増子委員長 それでは終了します。ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

平成 22 年 10 月 9 日（土）朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。

系列各局に議事録を送付。

本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。

インターネットホームページに掲載。

9. その他の参考事項

特になし

10. 配布資料

◎ 11 月単発番組編成予定表

◎ 9 月岩手地区視聴率